

雲 北陵月報

No. 458

令和5年10月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール全国大会銅賞 全日本マーチングコンテスト中国大会金賞

第71回全日本吹奏楽コンクール全国大会

時 10月22日

於 名古屋国際会議場

本校としては2年ぶり15度目となる全国大会である。「全国大会金賞」を目標に掲げ、本年度のテーマである「超越」を胸に、部員達は3年生を中心に日々の地道な練習を積み重ね大会に臨んだ。本番当日は早朝から練習を行い、万全の準備を整えた。ステージでの生徒達は堂々とした態度で、日頃の練習通り気持ちのこもった素晴らしい演奏を披露した。演奏後、観客からは大きな拍手を頂いた。結果、高等学校前半の部で銅賞を受賞した。目標であった金賞には届かなかったが、生徒達の演奏は誇らしいものであり、生徒の日々の弛まぬ努力に拍手を送りたい。



素晴らしい演奏を披露した。演奏後、観客からは大きな拍手を頂いた。結果、高等学校前半の部で銅賞を受賞した。目標であった金賞には届かなかったが、生徒達の演奏は誇らしいものであり、生徒の日々の弛まぬ努力に拍手を送りたい。全国の舞台で演奏できたのも、日々様々な面でサポートしていただいた保護者の皆様、地域の方々を始め、多くの支えがあった結果である。この場をお借り

して、御礼申しあげたい。今後とも変わらぬ精進し、地域の方々に愛されるバンドを目指し、努力していきたい。(顧問 原田 実)

第36回全日本マーチングコンテスト中国大会

時 10月8日

於 広島サンプラザホール

参加団体の中では少人数であり、練習も苦難の連続であったが、本番では立派な演奏・演技を披露し会場を魅了した。結果、金賞を受賞し、9年連続11度目となる全国大会への出場を果たした。これまで支えていただいた保護者並びに卒業生の皆様、応援していただいた地域の皆様への感謝を忘れず、11月に行われる全国大会には、島根県、中国支部の代表として誇りを持って臨みたい。皆様には引き続きご声援の程宜しくお願ひ申しあげます。(顧問 竹内康貴)



特別国民体育大会

卓球部

時 10月12〜16日

於 あいハウジングアリーナ松元

【出場選手】佐藤卓斗(34歳)、小野泰和(25歳)、黒田昌秀(25歳)

島根 1-13 兵庫

島根 3-10 鹿児島

島根 3-10 新潟

5位入賞

大会総評

島根県の選抜チームとして本校の単独チームで臨んだ。すべての試合で選手が持ち前の粘り強さを発揮し、2年連続となる入賞を果たすことができた。今後更に上を目指していくためには、日々の練習で技術の精度を高め、フィジカルを強化していく必要がある。この成績に満足することなく、生徒と共に精進していきたい。(顧問 古瀬泰之)



特別国民体育大会 卓球競技
国体5位入賞メンバー

なぎなた部

時 10月14日〜16日

於 枕崎市総合体育館

【選手】廣瀬米香(35歳)、寺本春葉(24歳)

〔演技競技の部〕

1回戦 島根県 0-15 岐阜県

大会総評

今年度は演技のみ出場。練習量が増え、技術的には進化して挑んだ大会であったが、精神面での弱さが出て1回戦敗退となった。改めて技術のみの指導でなく、人間力を高めることの大切さを学んだ大会であった。今回の結果を反省し、次へ生かしていきたい。(顧問 井上美代)

男子バスケットボール部

時 10月12日

於 薩摩川内市総合運動公園総合体育館

少年男子の部

1回戦 島根県 76-103 京都府

初戦敗退

大会総評

島根県少年男子選抜選手として、本校から崎原匠海(12歳)が出場した。初戦の相手は、大会優勝候補と前評判の高い京都府。試合序盤から互いによくシュートが入り、29-25と4ポイントで第2ピリオドへ繋いだ。しかし徐々に相手に流れを掴まれ、終わってみれば約30点差をつけられ敗退した。崎原は約10分間の出場時間で、2得点、3リバウンド、2スティールとチームに貢献した。この経験を糧とし、更なる成長を期待したい。たくさんの方々の支えの中で出場できたことに感謝し、また島根県民や自チームのために戦えるよう精進して欲しい。(顧問 手島幹人)

卓球部

WTTユースコンテンダー・バンク2023

時 9月15〜17日

於 Fashion Standisland Hall (タイ・バンコク)

【出場者】小野泰和

(U17)

予選リーグ2勝0敗

決勝トーナメント3回戦

小野 0-13 陳恒達(中国)

結果ベスト16

(U19)

予選リーグ2勝0敗

決勝トーナメント3回戦

小野 0-13 陳顯樺(中国香港)

結果ベスト16

大会総評

卓球部の小野泰和が、17歳以下の日本代表として国際大会に参加した。上位進出はならなかったものの、自分に足りない技術や戦術を肌で感じることで、大きな刺激を受けて帰国した。大会期間中には現地の史跡等を見学し、タイ独自の文化や歴史に触れ、見識を深めることができた。今回の貴重な経験を生かし、将来的には日本を代表するような選手に成長することを願っている。(顧問 古瀬泰之)



日本代表として国際大会に出場した小野泰和

卓球部

全日本卓球選手権大会島根県予選大会

時 10月7・8日
於 益田市民体育館

〈男子シングルス〉
優勝 佐藤卓斗
3位 小野泰和
〈男子ダブルス〉
優勝 黒田昌秀・大村 心(13歳) 組

〇大会総評

男子シングルスで優勝した佐藤卓斗、男子ダブルスに推薦出場する佐藤卓斗・小野泰和組、県予選優勝の黒田昌秀・大村心組が、1月に東京都で開催される全日本選手権へ出場する。全日本選手権には各県の予選を勝ち抜いた選手が集まるため厳しい戦いが予想されるが、大会までの期間で少しでもレベルアップをして臨みたい。



シングルス優勝の佐藤卓斗

(顧問 古瀬泰之)

美術部

ポスターコンクールにて多くの賞を受賞!

島根県緑化ポスター原画コンクール

特選 桑谷一佳(27歳)
優秀賞 高橋 悠(27歳)、勝田愛弓(27歳)
※3点とも全国出品決定

犯罪のない安全で安心なまちづくり啓蒙ポスターコンクール

県知事賞 桑谷一佳
山陰中央新報社長賞 本田紗月(27歳)



桑谷一佳の作品

令和5年度人権啓蒙ポスターコンクール
優秀賞 森崎菜々志(14歳)
伊藤利玖(27歳)、永島蒼生(27歳)
入選 高田 凜(16歳)

(顧問 石倉 正)

陸上競技部

第32回中国高校新人陸上競技大会

時 10月7・8日
於 広島総合グラウンド

男子
足立康佑(24歳) 走高跳 13位
片岡賢晴(22歳) 棒高跳 13位

〇大会総評

今年度は、昨年に続き二名が中国大会に出場した。足立は自己記録更新、片岡は自己タイ記録をマークした。兩名とも大舞台で自分の実力を発揮し、来シーズンに向けて収穫の有る大会となった。次年度の県高校陸上で更にもう一つ先を目指し、冬季練習に励んでいきたい。(顧問 中澤 悟)

野球部

出雲地区フレッシュトーナメント

時 10月8・14日
於 三刀屋球場・浜山球場

2回戦 本校 3-3 大東
準決勝 本校 5-3 三刀屋
決勝 本校 0-2 飯南

〇大会総評

この大会は1年生のみで戦う大会であった。1年生11名が一致団結して試合に臨んだ結果、決勝まで勝ち進んだが、優勝まであと一歩及ばなかった。引退した3年生も応援に駆けつけ、大きな声援で試合を盛り上げてくれた。更なる高みを目指して、冬の練習に取り組んでいきたい。
試合当日は、多くの関係者の方々に応援していただき、有難うございました。(監督 畑 宗一郎)

サッカー部

第102回全国高校サッカー選手権大会島根県大会

時 10月20日
於 松江東高校グラウンド

1回戦 本校 0-3 開星高校

〇大会総評

開星高校は県リーグ1部に所属している強敵であったが選手達は一歩も引かずに堂々と戦った。前半チャンスもあったが自力に勝る相手に得点を許してしまっ

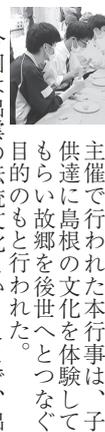


た。後半は逆転のために、チーム一丸となり最後の最後まで諦めずに声を掛け合いながら北陵らしい思いのこもったプレーをしてくれた。この経験を今後の糧にして欲しい。最後になりましたが保護者の皆様をはじめ、多くの方々のご声援をいただき、有難うございました。(顧問 鈴木雄介)

インターアクトクラブ

「出雲の伝統文化」を体感する旅

時 10月15日
於 出雲文化伝承館

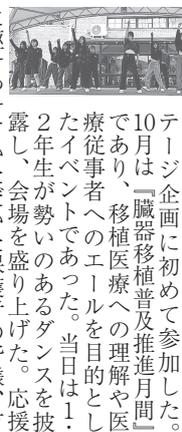


出雲南ロータリークラブの主催で行われた本行事は、子供達に島根の文化を体験してもらい故郷を後世へとつなぐ目的のもと行われた。今回は出雲の伝統文化ということで、出雲屋敷と出雲流庭園の見学、茶の湯体験、茶室見学、和菓子づくり体験、また開催中であった金澤翔子書道展の見学を行った。出雲の伝統文化を学ぶ良い機会となった。(顧問 尾添喜行)

ダンス同好会

グリーンライトアップイベント

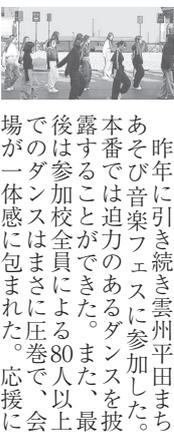
時 10月14日
於 キララ多伎



ライトアップイベントのステージ企画に初めて参加した。10月は「臓器移植普及推進月間」であり、移植医療への理解や医療従事者へのエールを目的としたイベントであった。当日は1、2年生が勢いのあるダンスを披露し、会場を盛り上げた。応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、有難うございました。(顧問 水谷円香)

雲州平田まちあそび

時 10月15日
於 山陰合同銀行平田支店前



昨年引き続き雲州平田まちあそび音楽フェスに参加した。本番では迫力のあるダンスを披露することができた。また、最後は参加校全員による80人以上でのダンスはまさに圧巻で、会場が一体感に包まれた。応援に駆けつけていただいた保護者の皆様、有難うございました。(顧問 遠藤圭晃)

出雲北陵中学・高等学校芸術鑑賞会

並べに第33回定期演奏会

時 10月5日
於 出雲市民会館



本年度33回目を迎えたこの演奏会は、ソロ・弦楽合奏・吹奏楽・合唱と様々な演奏スタイルの演目が並び、他校にはない本校ならではの演奏会である。昼は本校の生徒対象の芸術鑑賞会、夜は一般の方々対象の定期演奏会と2公演を行った。生徒達は山陰で唯一の音楽コースの独唱・独奏をはじめ、島根県・中国地区を代表する音楽部に相応しい演奏を披露し、観客を魅了した。当日来館いただいたお客様をはじめ、応援いただいている地域の方々、何より影で支援をいただいている保護者の皆様には感謝しあげます。

特別進学・音楽・美術CGデザインコース体験入学

時 10月11日
於 本校



本校の特色である各コースに、県内外から多くの中学生の参加があった。どのコースの授業体験も講師の先生の言葉を聞き逃すまいと、参加者は真剣な眼差しであった。参加いただいた中学生の皆さんには出雲北陵高等学校を肌で知ってもらいよい機会になったと思う。

情報技術部

島根県高等学校商業教育実技競技大会(ワレロ競技)

時 10月16日
於 松江商業高校



新たなメンバーで臨んだ大会で、2年生は競技の進行を先輩に伝えることにも真剣に取り組み、1年生は初の大会参加で緊張の初めの競技となった。結果は初めの大会参加から入賞には至らなかったが、自己記録を更新できたことやミスの少ない打力を発揮し、大会の中で成長が今後の技術向上につながることを期待される。(顧問 永瀬貴之)

避難訓練



今年度は火災を想定した避難訓練を実施した。避難まで少し時間がかかったが、生徒は落ち着いて冷静にグラウンドに避難することができた。また、避難確認後は防災設備会社の職員の方には消防設備等のお話をさせていただき、災害への備えについて考える良い機会となった。

公開授業(6年目研修)



本校に着任して6年目を迎える金森快教諭(3年1組課題研究)の公開授業が行われた。こうした公開授業は、授業力の向上に向けて教科指導を研鑽する目的で実施されている。金森教諭は緊張感を持ちながらも生徒一人ひとりに目を向けた質の高い授業を展開した。

第18回出雲北陵杯争奪中学校卓球大会

時 9月23・24日
於 本校体育館



- (男子団体)
 - 優勝 嫁島ジュニアクラブ
 - 2位 出雲市立斐川西中学校
 - 3位 斐川ジュニアクラブ
 - (女子団体)
 - 優勝 MTC鳥取
 - 2位 松江ジュニアクラブ
 - 3位 松江市立湖南中学校
 - (男子シングルス)
 - 優勝 シンダース
 - 2位 波多間怜偉(中2)
 - 3位 小林麟太郎(中1)
 - (女子シングルス)
 - 優勝 小谷楓和(MTC鳥取)
 - 2位 竹本悠奈(MTC鳥取)
 - 3位 永田花歩(松江ジュニアクラブ)
- 大会総評

出雲市及び県内外の小中学校卓球部員相互の親善と交歓、技能向上とチームの強化を図ることを目的としており、今年で18回目の開催となった。今大会には男子61名、女子43名の参加があり、2日間にわたって熱戦が繰り広げられた。ご参加いただいた学校・チームの方々に感謝申しあげます。(顧問 相場翔太)

お知らせ

総合評価入試説明会【本校】
申し込みが始まっています。
○11月25日(土) 9時半～11時半
○12月3日(日) 9時半～11時半
申し込みは本校総務部まで
0853(21) 1887
0853(21) 1871

入学相談会【本校】
事前申し込みは不要です。お気軽にお越しください。
○11月25日(土) 9時～12時
○12月3日(日) 9時～12時
入学試験日程
○総評方式入試 12月12日(火)
○特別推薦入試 12月15日(金)
○推薦入試 12月17日(水)
○一般入試 1月31日(水)・2月1日(木)
詳しくは本校HPをご覧ください。

中学校

男子バスケットボール部

高根県中学校新人バスケットボール大会中部地区予選会
時 10月8日・21日
於 カミアリーナ・斐川第一体育館

- 予選トーナメント
1回戦 本校 108-20 平田
ブロック決勝 本校 92-58 三刀屋
予選トーナメント 1位
決勝 本校 81-34 出雲二
決勝 本校 87-48 出雲一
優勝(県新人戦出場決定)

○大会総評
少人数ながらよく戦ったと思う。決勝では、気持ちのこもったプレーができた。ご声援有難うございました。
(顧問 多々納厚比古)

卓球部

第2回島根オープン小中学生卓球大会
時 9月30・10月1日
於 カミアリーナ

- (団体) ベスト8
- (シングルス) ベスト8 三好蒼空
- ベスト16 波多間怜偉

○大会総評
全国の様々な選手と対戦ができ、いい刺激となった。見つかった課題を一つ一つ克服していききたい。(顧問 相場翔太)

野球部

第1回出雲部中学校新人野球大会
時 10月7・9日
於 湖陵球場・斐川球場

- 一回戦 本校・斐川東中 1-8 出雲一中
- 大会総評
斐川東中との合同チームとして出場した。初回は本校選手の長打などで先制したが、その後逆転され一回戦敗退となった。この冬に練習を積み重ね、強いチームを作っていく。(顧問 手銭修司)

第2回合同道徳

時 10月23日
於 北陵ホール他

講師 水谷厚志校長
今回は、元出雲市長の岩國哲人さん、漫画家のさくらももこさん、トルコ共和国と日本の友好関係の三題を例に挙げられた講話を聞いた。それぞれの講話から「相手を思いやる心」の大切さを改めて理解することができた。

生徒の感想

最初に話された岩國哲人さんが亡くなったことは新聞で知っていましたが、何をされた方かはわかりませんでした。「出雲駅伝創設」「出雲ドーム建設」など今の出雲の誇りを築きあげたということが今日わかり、とても関心をもりました。「みはらのおじいさん、おばあさんの新聞の話」は、少年だった岩國哲人さんの心に響く出来事だったようです。次に関心をもったのは、トルコと日本の絆の話でした。命に関わる大変な事件や事故から互いを助け合った「恩返し」の精神はとてもすごいと思いました。とくに、トルコの人は日本人の救

国際交流ひろばワークショップ

時 10月18日
於 本校

今年度の国際交流ひろばワークショップは、ブラジル・アイルランド・フィンランドの講師の方々をお迎えし、各学年に分かれて異国の文化に触れ交流を深めた。お蔭様でどのクラスも非常に充実した時間を過ごすことができた。講師の先生方からも本校生徒達と有意義な交流ができて良かったという趣旨のコメントを頂き、本当に素晴らしいワークショップとなった。

第36回隣保館まつり人権標語

時 9月13日

(中学生の部) 入選 神田桃花(中2)
「我慢する この一言で 終わらせない」
今年度の応募作品総数は1855点だった。小学生から大人までの部で、それぞれ特選及び入選作品が選ばれた。本校も全校生徒が人権意識の高揚と啓発推進のための標語を考え応募した。

お知らせ

- 入学説明会・個別相談【本校】
○11月5日(日) 9時(個別相談は9～12時)
○11月18日(日) 14時(個別相談は14～16時)
○12月3日(日) 9時(個別相談は9～12時)
○1月6日(土) 9時(個別相談は9～12時)
体験講座
○11月5日(日) 9～11時
部活動体験【本校】
○11月5日(日) 9～12時
(男子)バスケットボール部、女子バスケットボール部、野球部、卓球部、陸上競技部、ダンス同好会
体験講座は申込が必要ですが、部活動体験・入学説明会・個別相談は申込不要です。お気軽にお越しください。

作品と研究

日常生活に役立つ

「故事成語」の意外な使い方

「発想の転換による「なるほど」「アツと驚く」が盛りだくさん」

高校二年国語科宿題より

【まず隗より始めよ】

ケンカをしたときには、この故事成語は意外な効果を発揮する。どちらが悪いかは多少の差があるが、どちらにも非があることは明らかであることから、自分から先に謝ることで解決と仲直りが早くできる。ただし、全面的に相手が悪いときはこの必要はない。

【一炊の夢】

人生のはかなさをたとえる故事成語であるが、次のような使い方もある。失敗したときや願いが叶わず落ち込んだときにこの語を思い浮かべてみて欲しい。しよせん一炊の夢、一つの失敗にいつまでも悩む必要はなく、夢から覚めるように前に進むことができるようになる。

【傾国の美人】

用途…その人ばかりを見てしまつて他のことは手につかないほどの美人に出会ったとき自分自身への警告・戒めとしてこの語を用いる。
効果…我を忘れることなく、冷静に対処することができるようになる。

【杞憂】

用途…心配していたことが解消され、ホツとしたときにこの言葉を思ひ出す。
副作用…安心しすぎて、これまでの苦労や悩みを吹き飛ばしてしまうために注意散漫になり、再び新たな困難が生じ苦しむことになる。このため、心配事が無事解消したときには他の故事成語やことわざを思い浮かべることをおすすめする。

【逆鱗に触れる】

おしゃべりが好きな人にオススメしたい故事成語。この語を心に留めておけば、余計なひとことをいわなくて済み、明るく朗らかなおしゃべりとなるでしょう。

【同病相憐れむ】

〇〇先生は、病院の待合室でよく見る光景だと説明されていた。更に「私も年をとつたので、この言葉の気持ちちはよく分かる」と感慨に浸つておられた。

【人事を尽くして天命を待つ】

結果を待つときにこの言葉を思い浮かべる人が多い。ただし、「充分に成すべきことを尽くさなければならぬ。自己満足に過ぎない程度の努力は、この故事成語には不似合である。

【万事休す】

もうどうしようもなくなったときにこの言葉が浮かぶ。この故事成語を口にする、もう何も打つ手がないうと、自分も周りもあきらめた気持ちになつてしまう。しかし、状況は「背水の陣」と同じであることから、速やかにこちらの故事成語に切り替え、全力を尽くして事にあたるとよい。何事も切り替えが大事である。

【前門の虎後門の狼】

来なくてもよい災いが相次いで襲いかかる、いたたまれない状況をいう。想像もしたくない事態状況をあえて故事成語として成り立たせることに疑問を抱かざるを得ない。

【塞翁が馬】

目の前に起きた出来事は見方・考え方によつて「幸」「福」と見られることもできるし、「禍」と見られることもある。解釈の幅を広げてくれる言葉。落ち込んでいる人にこの言葉を踏まえて励ますと有効である。



今月の
1枚 「夏休み」

山本 海志 (21歳)